



【三笠】大雪に見舞われている市内で27
高齢者宅で除雪に励む三笠中バスケットボール部員

玄関や窓周辺 三笠中バスケット部ボラ 「いい練習」足腰強

除雪で高齢者支援

重機も活躍 郊外で奉仕

岩見沢 建設3社の61人作業

【岩見沢】岩見沢市内の建設会社の社員たちが26日、朝日町地区の一人暮らしの高齢者宅などでボランティア除雪を行った。

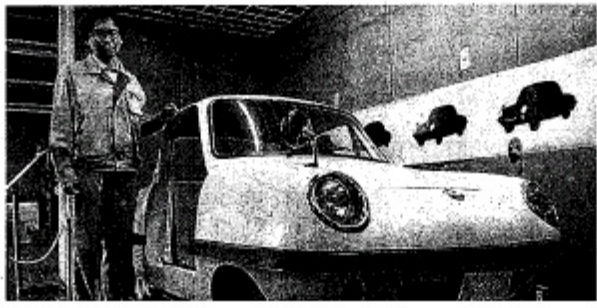
同地区での除雪ボランティアは昨年続き2回目。馬淵建設、宮脇大木建設、北央道路工業の3社から61人が参加した。郊外の同地区は65歳以上の住民の割合が約50%と高齢化が進んでいる。



「岩見沢」岩見沢市や入院中などで自力で除雪することが困難な緊急性の高い7軒で実施。社員らは屋根の上から雪を下ろし、タイヤショベルや除雪機を使い通路を確保した。

朝日町内会の佐藤徹志郎会長(75)は「除雪ができなかったり、落雪で玄関前や窓がふさがると困ります。ボランティア除雪のおかげで助かりました」と感謝して

ダットサンベビー復活 苫小牧 修理し10年ぶり展示



時に、冬場に足腰を鍛える練習の一環として除雪ボランティアを企画した。部員13人は同日午前8時すぎに同市宮本町の鶴賀ミユキさんの家で除雪で

苫小牧市科学センター(旭町3)で、子供用自動車「ダットサンベビー」が約10年ぶりに展示されている。105台限定で生産されたうちの1台。傷みが激しかったため倉庫に眠っていたが、市内の業者がボランティアで再塗装や修理を行い、装いも新たに「復活」した。写真。

旭川市春光記念館で企画展「旭川市科学センター」の第7期展示が、開かれていた。その中で、105台限定で生産されたうちの1台。傷みが激しかったため倉庫に眠っていたが、市内の業者がボランティアで再塗装や修理を行い、装いも新たに「復活」した。写真など。ノモンハ、写真など。旭川市春光記念館で企画展「旭川市科学センター」の第7期展示が、開かれていた。その中で、105台限定で生産されたうちの1台。傷みが激しかったため倉庫に眠っていたが、市内の業者がボランティアで再塗装や修理を行い、装いも新たに「復活」した。写真など。

O.tone
平野編集長の
気になる店



発売中の「O.tone」の特集は「今もそこにある、昭和酒場」。長く続く店はそれなりにわけがあるのだが、共通しているのは時代に流されず、暖かな空気に満ちていること。

「家庭料理 まさき」もそんな1軒だ。この店を教えてくれたのは、札幌市長

引き継ぎ、真正正銘の家庭料理を伝承している。その愛情こもったメニューも常時60種以上と、圧倒的な数だ。旬な魚介料理が自慢で、私の好きなラインナップが並ぶ。たらこ煮580円、たちぼん980円、カキフライ840円、地ふきと身又きこしり次ぎ合計せ

